

# 2018 年度事業報告

2018 年 7 月 1 日から 2019 年 6 月 30 日まで

特定非営利活動法人 日本標準教育研究所

## I 事業の成果

定款第 3 条記載の「義務教育段階における目標に準拠した学力評価のもと、明るく平和な社会をになう子どもたちが身につけるべき基礎的基本的な学力の内容を明らかにしつつ、子どもと先生と父母の立場に立って、学校・家庭・地域などのあらゆる場面で、すべての子どもに学力保障を実現し、教育に貢献することを目的」とし、今年度は以下の事業を行った。

### 1. 教職員支援事業

(1) 従来から実施してきた講習会・セミナーを引き続き実施した。

①「教師のチカラ」の編集委員が主催する教員の学びのためのサークル活動や授業づくり・クラス作りの講座を後援した。

②本質授業研究会の授業づくり・クラスづくりの連続講座を後援した。

(2) 教育誌「教師のチカラ」の 2018 年秋号から 2019 年夏号までの企画・編集を行った。及び、「教師のチカラ」読者のコミュニティ WEB サイトを運営した。

会議名	開催日時	開催場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	収入(千円)	支出(千円)
①ユニット授業研究会講座	毎月 毎学期	東京	1名	約 20 名	0	0
		東京	1名	約 50 名	105	0
②本質授業研究会連続講座	隔月	東京	1名	約 30 名	0	0
「教師のチカラ」WEB	常時	全国	1名	全国の小学校教師	0	0
合計					105	0

### 2. 国際協力活動

(1) 途上国への技術協力活動

#### 1. モロッコ

・新教科書 3・4 年についての技術協力を行った。(2019 年 2 月)

モロッコの全小学校で数字カードを用いた習熟活動が行われていることを確認した。

#### 2. パレスチナ

・JICA による「パレスチナ 数学・理科教育の質の向上プロジェクト」の一員として参加。

パレスチナの子どもたちに診断テストを実施し、結果に基づく報告書を提出した。

報告書の内容が受け入れられれば、活動は継続することになる。

活動は 2019 年 3 月から 1 年間。その後、第 2 フェーズが 2 年間。

#### 3. マレーシア

・JICA の要請を受け、来日したマレーシア教育省視察団に日本の小学校教育と教材の役割について説明した。(2019 年 5 月)

(2) モロッコでの学校教材事業展開のための準備活動

1. JICA の中小企業支援事業に応募した。(採用の可否は 8 月下旬)
2. カリキュラム局長の協力を得て 4 つの県教育局から Pilot 事業への協力の約束を取り付けた。
3. モロッコの私立小学校市場への展開に向けて現地教科書会社とのパートナーシップの協議を行っている。

3. 学習指導要領改訂内容等の研究分析事業

(1) 基礎・基本の学力を身につけ、思考力・判断力・創造力をのばすのに役立つ教材・教具・図書等の開発に関する事業として、2020 年度実施の学習指導要領改訂について、その教育改訂内容と教材の開発研究を行った。

①国・文部科学省の動向や発表の把握

a 教育目標 b 教育方法 c 教育評価 d カリキュラムマネジメント e ICT の活用 など

②研究課題

a 到達目標の改訂検討 b 評価教材の改訂検討 c カリキュラムマネジメント研究 など